

1 白旗神社



寒川比古命と源義経を祭神として祀る。6月に義経公鎮霊祭、10月に「湯立神楽」(市指定)を実施。  
・庚申供養塔1基(市指定)

〈義経伝説〉



この地に義経が葬られたとの伝説が残る。江戸時代には義経ゆかりの地として江戸の人々にも知られていた。

〈江の島弁財天道標(市指定)〉

江戸時代に江の島道沿いに杉山検校によって建立された道標。現存する11基と同型の1基は市指定。藤沢宿エリアには3基ある。

● 藤沢御殿跡

御殿とは将軍専用の宿泊施設のこと。家康は所領となった関東各地に御殿を設置し、藤沢御殿は家康、秀忠、家光の三代にわたり利用された。江戸時代後期には御殿跡として知られていた。

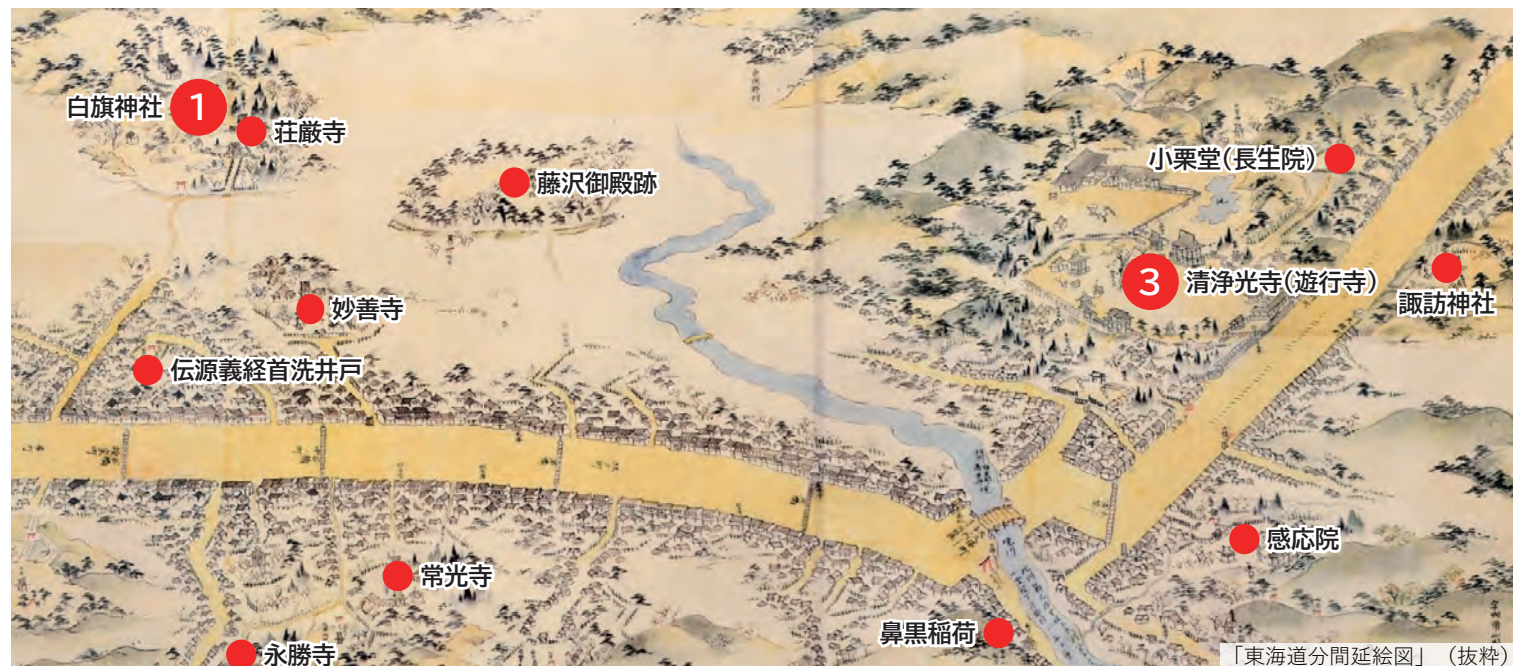
● 伝源義経首洗井戸



奥州で自害した源義経の首は、鎌倉での首実検の後、浜に打ち捨てられたとされるが、川を遡り漂着した首を地元の人々が洗い清めたという伝説が残る井戸。

◀ 旧東海道沿いの寺院 ▶

- 永勝寺 — 39基の飯盛女の墓が建ち並ぶ。
- 荘厳寺 — かつては白旗神社の別当寺であった。義経の位牌とされるものが伝わっている。
- 妙善寺 — 日本各地に伝承の伝わる徐福の子孫の墓といわれるものが伝わっている。
- 常光寺 — 明治初め、警察署の前身である邏卒屯所が置かれた。市指定文化財を多く所有する。阿弥陀如来立像・地藏菩薩立像(市指定)、樹林(市指定)、庚申供養塔2基(市指定)



◀ 旧東海道沿いの歴史的建造物 ▶

- 関次商店(国登録)
- 旧稻元屋(国登録)
- 桔梗屋(国登録)
- 旧石曾根商店(国登録)
- 有田家(国登録)



2 ふじさわ宿交流館



藤沢宿の歴史や文化に触れることができる施設。藤沢宿やその周辺地域の活性化、にぎわい創出のための拠点となっている。  
2016年(平成28年)4月開館。

3 清浄光寺(遊行寺)

一遍上人を宗祖とする時宗の総本山。境内の歴史的建造物のうち、中雀門は市指定。本堂を含む10件は国登録。山内寺院の長生院は、江戸時代に人気のあった小栗判官ゆかりの寺院。



敵御方供養塔(国指定)

- ◀境内▶
- ・青銅製燈籠(市指定)
  - ・黒門・築地塀(国登録)
  - ・大イチョウ(市指定)
  - ・本堂他(国登録)
  - ・敵御方供養塔(国指定)
  - ・長生院(市指定)
  - ・銅鐘(県指定)
  - ・中雀門(市指定)
  - ・鳥居の沓石(市指定)
  - ・宝物館

〈江の島一の鳥居〉



江戸時代、遊行寺橋(大鋸橋)のたもとには江の島一の鳥居が建てられ江の島道の始点となっていた。明治期に建立された鳥居の沓石が遊行寺境内に残されている(市指定)。江の島一の鳥居と、遊行寺橋(大鋸橋)と遊行寺本堂を眺める風景は藤沢宿の名所となっていた。